

世界に向け ロボット研究開発拠点都市ATSUGIを宣言！

さあ！次代を支える福祉ロボット産業に参画を！

福祉支援ロボットATOM1号機市場デビュー検討会議のご案内
場所：神奈川工科大学
日時：2010年2月28日(日)13:00～15:30



御社のすぐれた技術が県央の未来を支えます！

大学・地域企業・まちづくり市民団体
みんなであつぎ
元気なあつき

地域主権次代の
ベースとなるのは地域産業の確立だ！

主催：ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチーム アトム
後援：県央経営者会

※詳細につきましては裏面をご覧ください。

第1回 福祉支援ロボットATOM1号機市場デビュー検討会議

主催：ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチームアトム

場所：神奈川工科大学

日時：2010年2月28日(日)

：13:00～13:45 休憩 15分 14:00～15:30

《参加対象者》

●基本設計製作者スタッフ

神奈川工科大学 山本圭治郎教授

〃 山本研究室スタッフ

●使用現場サイド(老人ホーム・介護施設等の職員・介護士)

●製作会社(地元企業)

《目的》

(1) 大学と地元企業との連携による商品開発

- ・優れたものづくり技術を有する地元中小企業と、大学との共同研究開発及び各パーツのコンパクト化や耐久性 up および軽量化の素材開発等を進め、先ず1号機を完成させ市場デビューを図りたい。

(2) 利用者・使用者ニーズを把握・反映するための実証実験の展開（モニター制度）

- ・医療・福祉施設、看護学校等の場において、利用者ニーズの把握、安全性汎用性の検証等の実証実験を展開し、早期の実用化を図る。

《対象商品》

- ・実際の研究開発品を大学側スタッフに装着してもらい、先生より説明をしていただく。

(1) ウェアラブルパワーアシストスーツ

(2) リハビリ支援用品補助器具等

(手、肘、肩、足首、膝)

《製品に対する課題点・疑問点・理想像》

(1) 基本設計製作サイド

(市場デビューに際しどの部分をどの様に改善・開発してもらいたいかな等。)

(2) 利用・使用者サイド

(現場での問題点やどんな要望を持たれているか話して頂く。)

(3) 企業・技術者サイド

(要求(ニーズ)の明確化と疑問点等について出来るだけ把握して頂く。)

※上記、各サイドより順番に発表して頂き、最後に質疑応答の時間を設けたと思います。

〈次回予定を5月中旬か下旬開催予定と考えております。〉

● お問い合わせ先：ロボット研究開発拠点都市推進プロジェクトチームアトム

北村 正敏 (スタジオ246) 電話 (046) 221-1661